

【同窓会便り】

学科同窓会のご案内

同窓会事務局長 後藤達三(20期)

ポルトガル語学科の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
在学生会はじめ ESCADA をご覧になられた皆さん、こんにちは。

ポルトガル語学科にはこれまで数十年に亘り活動してきている同窓会があります。この場をお借りしまして同窓会についてご紹介させていただきます。

同窓会は卒業生・学科の教職員によって構成され、今や2,000名を超える大きな組織です。年間を通じて行われる各種行事は卒業生同士はもちろん、教職員や在学生会の方々との交流の場となっております。

昨年は毎年5月に開催されるASF (All Sophians Festival) において、三田先生の講演、各方面で活躍されている卒業生の紹介や在学生会によるポルトガル語劇公演の案内、懇親会などが行われました。

今年は皆さん御存知の通り大学創立100周年の節目の年であり、更に来たる2014年はポルトガル語学科設立50周年という記念すべき年になります。奇しくも2014年はサッカーW杯がブラジルで行われる年。学科の50周年の節目、何か因縁めいたものを感じます。同窓会としても、今年及び来年は例年以上の盛り上げを、と考えております。

一方、同窓会の活動についてはまだまだ改善すべき点があります。事務局を中心とする組織の整備と強化、連絡方法の整備など、円滑な運営に関することもそうですが、中でも優先して取り組まなければ、と考えているのが、同窓会と在学生会との交流の機会を増やすということです。同窓会事務局を中心にいろいろアイデアを出し検討を重ねておりますし、在学生会の皆さんのご意見やご希望なども伺えるような機会も作っていかれたらと思っております。そして少しずつでも実践していかれたらと願ってやみません。

最後になりましたが、新入生を含め在学生会の皆さんが楽しく充実した大学生活を送られることを、心よりお祈り申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。